

教えてはちくん!木づかい通信 Vol.14



大館市観光キャラクター
「はちくん」
※チェンソーマンVer.

テーマ

樹液が流れる音って
ホントに聞こえるの?

～スギでは夏場に“時速20cm”で樹液が上昇している～

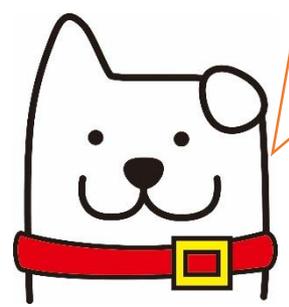
WOOD CHANGE! TOPICS:
「秋田スギホルダー」

令和4年5月
産業部林政課

テーマ「樹液が流れる音ってホントに聞こえるの？」

教えてはちくん!

「目からウロコの木のはなし、P44～46」



樹木は根から吸い上げられた水が道管や仮道管を上昇し、また、葉で作られた栄養分が内樹皮を通過して下降しますが、樹液は非常に細かい細胞の中をじわじわと移動しています。森林学会の文献※によると、スギでは夏の蒸散の激しい時期でも1時間に20cm、つまり時速20cmで樹液が上昇しているとのことですので、ゆっくりしたスピードで流れる樹液の音が人間の耳に聞こえることはありません。

※日本林学会「森林科学」編集会編：森をはかる、古今書院(2003)



秋田スギ丸太

それでも何か聞こえる…



竜ヶ森登山道のブナ



樹幹の中に人間の動脈のようなパイプは無い
⇒樹液がドクドクと高速で流れることは無い

木材中を伝わる音の速度は空気中の10倍くらい
⇒幹や枝や葉が動く音とか、地中から伝わってくる何か別の音でしかない

竜ヶ森：[大館市ホームページ](#)

⇒たとえ聴診器で聞いたとしても樹液の流れる音が聞こえることはありません。また、「樹液の流れる音が聞こえる」→「木は生きている」といった表現もよく見かけますが、Vol.3 (R3年6月)でも取り上げた通り、木の樹幹の大部分は“生きていない”状態です。信じていた話がウソだと分かった時のショックは大きいので、間違っている方がいた時はコッソリ教えてあげてくださいね。



秋田スギホルダー

おおだて こうげいしゃ
 製作者: 株式会社 大館工芸社

大館市では協定締結式などで使用するホルダーを「秋田スギ」に“ウッド・チェンジ”して活用しています。



活用例 |

令和2年2月22日

2020東北地方林業成長産業化地域サミット

「林業成長産業化に向けた共同宣言」

山形県金山町 × 福島県南会津町 × 大館市 × 北秋田市 × 上小阿仁村



活用例2

令和3年2月16日
「大館市ゼロカーボンシティ宣言」



活用例3

令和4年5月13日
「次世代を担う子どもたちの育成支援に関する協定」
大館市教育委員会 × 第一生命保険株式会社